全市民にマイナンバー送付へ

市個人情報保護条例に特定個人情報（マイナンバー）を追加

沼田市は、１０月５日から始まる「マイナンバー制度」開始に向けて、ぎりぎりとなる今９月議会へ「沼田市個人情報保護条例の一部を改正する条例」提案しました。会期末の１８日に審議し採決されますが、採択されても開始までに１７日間しかありません。たった１７日間で、市民に対して「マイナンバー制度」の内容と情報漏れなどの危険性の周知が全市民に徹底できるでしょうか。

全ての国民の情報が国に監視される危険性

「マイナンバー制度」は、安倍政権が国民監視のシステムとして強引に進めている事業です。現在は福祉や医療、税金、預金などの情報はそれぞれの機関で管理されているので、情報漏れがあったとしてもその分野だけの危険があるだけですが、安倍政権はこれらの情報を国民一人一人に１２ケタの番号を決めて、その番号のもとにすべての情報を集中させようとしています。地方においては、行政などが市民の情報をえようとすれば便利になりますが、市民には何の利益もありません。それどころか、情報漏れによるリスク（危険性）は大幅に増大します。

情報漏えいの心配は解消されていない

６月の年金情報流出問題を受けて、年金情報のマイナンバー連結は１年半延期されましたが、いつどこで情報が流出する危険に対しての国民の心配はなくなっていません。そんな状況で強引に実施することは、絶対に許されないのではないでしょうか。さらに、従業員の源泉徴収や健康保険を扱う中小企業での大きな負担も指摘されています。

スポーツの秋・各地で運動会

恒例の中学校の運動会が９月１２日、市内中学校全校で開催されました。久々の好天に恵まれ、子ども・孫などを応援する声が響いていました。

沼中の開会に向けての力強い行進

総務常任委員会は戦争法案反対認めず

戦争法案撤回請願はまたまた継続審査

６月議会に「戦争をさせない利根沼田実行委員会（木村朝次郎実行委員長）」から提出されていた請願第２号　政府に対して「国際平和支援法」「平和安全法制整備法案」（戦争法案）の撤回を求める意見書提出を求める請願は、６月では「継続審査」となっていましたが、１６日に開催された総務文教委員会でも、国民の多くが反対し緊迫している時に、「採択」や「趣旨採択」の意見は全く出されず、「国会（審議）の推移を見守る」「様子をみる」「今の政権を信じている」「安全保障法は必要」などと述べ、継続を主張、また、この請願審査の場が議論の場であるのに、まともな議論もせず、「安全保障について議論をしてないので、判断がつかない」ので「不採択」という意見があり、多数で継続審査になりました。審査時間は２０分位でした。

沼田市議会は昨年の９月議会で、「集団的自衛権の行使容認しない」意見書を政府に向けて提出しましたが、今年４月の改選で議員が多く変わり、沼田市の先人が築き上げてきた「核兵器廃絶平和都市宣言」の伝統も曲げられつつあるような気がいたします。いずれにしても、日本を再び戦争する国には絶対にしてはなりません。沼田市議会を市民の平和の願いが届く市議会にしていきましょう。

日本共産党員を募集しています！

安倍政権が平和な日本をアメリカの従属国として、再び戦争をする国に、また、アベノミクスは弱肉強食をいっそう進め、日本経済を崩壊させようとしています。いまこそ日本共産党の仲間になって平和な日本を守り、アメリカと財界のいいなり政治を変えようではありませんか。関心のある方はぜひ下記までご連絡ください。

＊日本共産党利根沼田地区委員会
　２３－１５１９かホームページを
＊井之川博幸市議 090-7278-6199

２０１５年９月２０日　№７６３
いのさんニュース
発行所沼田市下久屋町 983　☎23－1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料